

老舗ホテル 龍名館、営業管理システムを 3 年かけ開発

中小規模のホテルや旅館に特化

経営指標を細かくグラフ化、経営と現場つなぐ管理ツール

売上高 1 億円未満の旅館・ホテルは 3 割強、自社システムの開発困難な企業に外販

創業 127 年、老舗のホテル・レストランを運営する(株)龍名館は、中小規模のホテルや旅館向けの営業管理システム「カラビナ」を開発しました。

「カラビナ」はホテル業とそれに付随するレストラン業に特化しており、複数の施設の稼働状況や営業分析といった経営指標を細かい項目で一元管理し、視認性の高いグラフや表として自動表示します。社員の業務日報も集約します。

紙やエクセルによる管理より、統計データの作成やリアルタイムでの更新といった面で優れています。

社員の業務軽減につなげながら、経営側が進捗状況を一目で把握できる、経営と現場をつなぐ管理ツールです。

システムはクラウドでソフトを提供する「SaaS」型で、2025 年 11 月 25 日(火)から販売を開始します。

利用料金は一施設あたり月額 3 万円から(税込、客室数で変動、初期費用・サーバー運用料別途)です。自社でシステムを開発するのが難しい同業の中小企業に向けて販売します。

東京商工リサーチによると、売上高 1 億円未満の旅館・ホテルは業界全体の約 3 割(30.4%)を占め、5 億円未満になると 6 割(61.8%)を超えます※。地域に特化した中小・零細規模の会社も多く、開発したシステムにニーズがあると考えています。※参照元:https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1200811_1527.html

当社がシステムを開発・販売するのは初めてです。ホテル業界に特化した営業管理システムは珍しく、「カラビナ」の事業を、創業ビジネスの宿泊業や、レストラン業、不動産業に次ぐ収益の柱に育てたい考えです。



創業 約 130 年の経験を武器に、3 年間で費やしホテル・レストラン業に最適化

本システムは、自社をモデルケースに、システム会社と共同で 2021 年 12 月から開発に着手、約 3 年間、社内運用をしながらホテル・レストラン業に最適化しています。創業から約 130 年間、宿泊事業に携わってきた経験をもとに、ホテル業界に特化した営業管理システムをパッケージ化しました。

例えばホテルの場合、管理画面のトップページに、売上高(当日・当月、目標達成率)および、重要業績評価指標(KPI)として平均客室単価(ADR)、客室稼働率(OCC)、販売可能な客室1室あたりの収益(RevPAR)を、前年比とともに表でまとめながら、あらかじめ設定した指定期間の売上高と7日移動平均をグラフで表示します。

詳細分析のタブをクリックすると、売上高とOCC、ADR、RevPAR、販売客室数、宿泊人数、1室あたりの平均宿泊人数(DOR)、滞在日数(LOS)の推移がグラフと表で表示されます。気になる項目をより詳しく分析することもできます。例えば売上高の場合、直販と予約サイト経由の販売状況や天気・曜日別の稼働状況、男女や世代比、国別比が把握できます。

日報タブを開くと、各社員の日報が表にしてアップされます。

競合他社の稼働率(MPI)と客室単価(ARI)、販売可能な1室当たりの単価(RGI)を、自社の数値と比較するタブも設けています。競合との比較データを入力するだけで、時系列でグラフに整理します。

このようにあらゆるデータのグラフや表を自動生成するので、営業状況をタイムリーに、かつ一目で把握できるようになります。これを見ながら会議をすれば、統計資料やグラフづくりといった資料作成の時間や手間を減らせます。

また、独立して提供されることの多いホテル業とレストラン業のシステムを一元管理するのも特長で、飲料部門を持つことの多いホテル・旅館業にとって使い勝手の良いシステムに仕上がっています。

異なるシステム同士をつなぐAPIを通じて、他社システムと連携することもできます。外部データ(CSVファイル)も読み込めるようにしています。

経営層や社員ごとにIDを発行すれば、基本的に無制限に利用者数を増やすことができます。閲覧権限は3段階(参照のみ、データの修正可能、アカウント登録も可能)で設定が可能です。必要な数字をタイムリーに社員に公開できるので、現場の経営参画意識を日常的に高める効果も見込めます。



創業120年以上の知見で「かゆいところに手が届く」システムを廉価に

販売ターゲットは主に、予算面で独自システムを開発することが難しい中小規模のホテル運営会社です。

近年、社会全体でデジタルシフトの流れが加速している中、宿泊管理システムの導入は進んでいるものの、営業管理に関しては、「カラビナ」を開発する前の当社のようにエクセルで行うところが多いほか、Web 上のデータではなく紙で管理しているところもあります(当社調べ)。

昨今、プログラミングの知識が不要でも業務アプリがつけれるクラウド型業務支援ソフトも普及していますが、システム担当者などが不在だと、自社に適した内容を構築するのにはハードルがあります。

この現状に対して当社は、各人や各施設のデータを、1つのシステムで統合的に運用することのできるシステムを開発しました。これにより業務の効率化や組織マネジメントの高度化、現場力向上に寄与します。

こうした「かゆいところに手が届く」サービスを、比較的リーズナブルに使える価格設計で外販します。

ホテル業界は、人材不足が続いています。厚生労働省が発表した令和6年12月の有効求人倍率によると、接客・給仕職業は全体平均(1.19倍)よりも1.4ポイント高い2.59倍に上昇しています。本システムの導入を通じて当社は、業界の生産性向上に寄与したい考えです。

きっかけは社員の声

開発の背景は、日々の営業報告書、会議資料の作成等をデジタル化することで、業務の効率化が図れるのではないかと社員の声です。当時は新型コロナウイルスの蔓延による、働き方や業務環境の見直しが求められていた時期でもあり、時代の変化に即した取り組みの一環として自社開発に踏み切りました。

名称は、登山やクライミングで使用する安全ロープとハーネス、ベルトなどをつなぐ道具「カラビナ」に由来しており、経営と現場をつなぐ要として命名しています。

システム概要

名称	カラビナ	販売開始	2025年11月25日(火)
月額料金	税込 30,000 円～(客室数により変動、1 アカウントから使用可能)		
初期費用	税込 300,000 円～(客室数により変動)		
URL	https://www.ryumeikan.co.jp/carabiner/		

(参考資料)

(株)龍名館について

(株)龍名館は、1899年(明治32年)に旅館業として創業した老舗をルーツとします。同年開業した御茶ノ水の本店「旅館龍名館本店(現ホテル龍名館お茶の水本店)」を源流としており、同旅館は日本画家の川村曼舟や伊東深水はじめ、作家、芸術家など多くの文化人に愛されてきた伝統を持ちます。

作家の幸田露伴の次女である幸田文が、小説「流れる」で、「帝国ホテル」と並び在京の名店に「旅館龍名



木造時代の旅館龍名館本店

館本店」を挙げたほか、宿泊した画家が宿泊代の代わりに自身の絵を置くなどのエピソードも残ります。

龍名館は昨今、高品質なサービスや文化、日本旅館のきめ細やかなおもてなしの心を受け継ぎながら、旅館からホテル業への本格的な転換をグループ全体で推し進めてきました。

その第一弾となったのが 2009 年、東京駅前の分店「旅館呉服橋龍名館」(1963 年「ホテル八重洲龍名館」に改称)の全面的な建て替えです。ビジネスホテルの中でも一線を画すスモールラグジュアリーホテルを打ち出し、「ホテル龍名館東京」(15 階建て、135 室)を新築します。このホテルが、国内外で高い評価を得ます。ミシュランガイドの二つ星(パビリオン)を 9 年連続(2012 年～2020 年)で獲得するほか、世界最大の旅行口コミサイト「TripAdvisor(トリップアドバイザー)」のエクセレンス認証を 8 年連続(2011 年～)で受賞し殿堂入りを果たします。

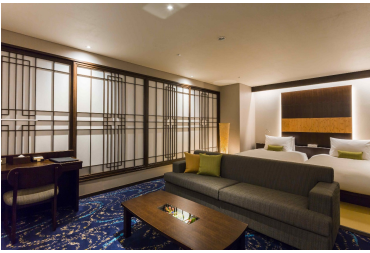
2014 年には源流である、御茶ノ水の旅館(本店)の全面改修に着手します。客室数を 12 室から 9 室に絞り、全室セミスイートルームの小規模型高級ホテル「ホテル龍名館お茶の水本店」としてリスタートを切ります。同ホテルは開業から 7 年連続で、ミシュランの三つ星を獲得しています。

そして 2018 年 12 月には、創業期以来 100 年超ぶりに用地を取得し、新橋・虎ノ門エリア(港区新橋 6)に「ホテル 1899(イチハチキュウキュウ)東京」(9 階建て、63 室)を新規開業します。旅館と関わりの深い「お茶」をテーマにした斬新なブティックホテルで、創業年「1899」を冠しています。

歴史について

1899 年	M32	創業、「旅館龍名館本店」を開業。建物は洗練された和風の総 2 階建てで、什器なども選び抜かれた品々を使用していました。全室が庭に面して造られており、その庭の一面には西洋館を設け、コックが洋食も提供していました。こうした最先端の流行を取り入れた旅館は、趣味人や各界の方々を惹きつけ、当時の雑誌にも紹介されるほどでした
1909 年	M42	本店の分店として「旅館呉服橋龍名館」を開業
1923 年	T12	関東大震災で「旅館龍名館本店」が焼失、順調な旅館経営が進みはじめた矢先でした
1927 年	S2	「旅館龍名館本店」を再建
1940 年	S15	“幻の東京オリンピック”の年。2 階建て 8 室の新館を建てるも幻となり空振りに終わる
1944 年	S19	第二次世界大戦の悪化で、新館 8 室と広間が「大東亜省」の官舎となる
1945 年	S20	東京大空襲を受けるも焼けずに残る
1963 年	S38	「旅館呉服橋龍名館」を改築し、「ホテル八重洲龍名館」を開業
1973 年	S48	高度成長化にともない高層ビルに建て替えるため着工開始
1975 年	S50	現在の龍名館本店ビルが竣工
2009 年	H21	「ホテル八重洲龍名館」を解体し、ホテル龍名館東京を開業
2014 年	H26	「旅館龍名館本店」を改修し、「ホテル龍名館お茶の水本店」を開業
2018 年	H30	創業期以来 100 年以上ぶりに用地を取得、「ホテル 1899 東京」を開業
2023 年	R5	東京のホテル・レストラン業では初の企業として「再エネ 100 宣言 RE Action」に参加
2023 年	R5	脱炭素の国際的な認定機関「SBT イニシアチブ」の認定を国内のホテル・レストラン業態で初めて取得

ホテルとレストランについて

名称	ホテル龍名館東京	ホテル龍名館お茶の水本店	ホテル 1899 東京
所在	東京都中央区八重洲 1	千代田区神田駿河台 3	港区新橋 6
開業	2009 年 6 月	2014 年 8 月	2018 年 12 月
形態	スモールラグジュアリーホテル	小規模型高級ホテル	ブティックホテル
特長	東京駅から最も近いモダン旅館	全 9 室セミスイートルーム	日本茶テーマ
客室例			
ホテルの レストラン	花ごよみ東京	レストラン 1899 お茶の水	チャヤ 1899 東京
			
運営会社	(株)龍名館	(株)お茶の水龍名館	(株)1899 ホスピタリティ

会社概要

社名	(株)龍名館	創業	1899 年(明治 32 年)6 月
代表者	代表取締役 浜田敏男、代表取締役 濱田裕章		
所在地	東京都千代田区神田駿河台三丁目 4 番地 3		
売上高	約 21 億(2025 年 3 月期)	資本金	5000 千円
事業内容	ホテル事業、レストラン事業、不動産事業		

本件に関する報道各位からのお問い合わせ先

(株)龍名館 広報担当 渡邊、山口、濱田(はまだ)

TEL:050-3668-9894 MAIL:pr@ryumeikan.co.jp

または広報事務局(Clover PR(株)内) 飯島、根岸、澤本

TEL:03-6452-5220 MAIL:ryumeikan-pr@cloverpr.net